

たんちよう

JAくしろ丹頂
広報誌

vol.116
2017.5

くしろ丹頂



CONTENTS

- 第11回 釧路丹頂農業協同組合通常総会 —— 1～3
- 平成29年度 春季地区別懇談会 —— 4
- 釧路丹頂農協酪農振興会通常総会
外国人技能実習生受入対面式 / 農作業安全祈願祭 — 5
- 第10回 鶴居スプリングショウ —— 6
- 第24回 釧路西部スプリングショウ —— 7
- JAグループ通信 —— 8
- 普及センターだより —— 9
- 辞令発令 —— 10
- 組織機構図 —— 11～12
- 理事会報告 / 生乳生産実績 / 退職者 —— 13



功勞者特別表彰

左から、植田晃雄様、田井 愷様、五十嵐 昇様、瀧澤義一様

第11回 釧路丹頂農業協同組合通常総会



中央会根釧支所長
平田 靖 様



白糠町副町長
木村 政勝 様



表彰に伴い挨拶する植田晃雄元組合長

五月十六日(火)、鶴居村総合センターで、第十一回通常総会が開会されました。

開会前、合併十周年に係る功労者表彰が行なわれ、元四JAの組合長、植田晃雄様、田井 愷様、五十嵐 昇様、瀧澤義一様へ功績を称え感謝状を贈呈致しました。

JA綱領を出席者全員で斉唱し、武藤組合長から開会の挨拶がありました。又、御来賓の皆様を代表し、白糠町副町長 木村政勝様、JA北海道中央会根釧支所長 平田 靖様から御挨拶を頂きました。

総会の定足数は、正組合員総数368名に対し、出席組合員数319名(本人出席69名、代理人出席5名



(左) 對木隆司議長 (右) 松井俊治副議長

書面議決245名)により総会は成立し、議長に白糠地区・對木隆司氏、副議長に幌呂地区・松井俊治氏が選出され、議事を進行しました。

議案第一号 新規就農・担い手対策サポート事業積立金(定款第65条に定める目的積立金)の設定についてから議案第十一号迄、及び報告事項、特別決議(成田洋子女性部長が説明)について順次上程され、質疑応答後、議案は全件決議されました。総会に御出席頂きました御来賓の皆様方、組合員の皆様方に深く感謝申し上げますとともに、今後も当JA事業運営に対し、より一層の御協力を賜りたく、宜しく御願ひ申し上げます。

第十一回 通常総会挨拶



代表理事組合長
武藤清隆

第十一回通常総会の開会にあたり、一言御挨拶申し上げます。

総会開会前に感謝状を贈呈させて頂きました植田様、田井様、五十嵐様、瀧澤様には、その先頭に立ち多くの困難を乗り越え、釧路丹頂農協の礎を築いて頂き、これまでの御功績に対し改めて感謝と御礼を申し上げます。

平成二十八年は、天候不順と規制改革推進会議から現場の声を無視した提言に振り回された一年でした。

一番草、二番草収穫時期の長雨、更には八月下旬から九月にかけて襲来した四つの台風により、各地区の牛舎施設等が甚大な被害を被った他、長時間に亘る停電で約100トンの生乳廃棄に至りました。また、乳房炎等の疾病により生乳生産が激減し、今なお、その影響を引きずるに至っております。

農協としてその経済的影響を最小限に止めるべく、期中に購買事業の手数料引き下げ等を含め3,200万円余りの緊急対策を講じさせて頂きました。復旧にあたり早速、ホクレン副会長であります瀧澤会長を中心にJA中央会、道連合会より現地調査を頂き、復旧に向け御支援・御協力を頂きました事、更には三行政をはじめ、共済連には共済金の

の支払い、また、信連には金融対策等で速やかな対応を頂いた他、ホクレン、全酪連からも多大な御支援を頂きました事に、改めて心より御礼申し上げます。

三月には突然、規制改革推進会議から、生乳の指定団体制度の廃止、或いはクミカンの即時廃止、更には信用事業の譲渡という組合員にとってのも農協にとつてもその運営の根幹を揺るがしかねない事項が提言されました。我々は今後これら提言に対し、しっかりと理論武装をして対処し、今後の動きを注視していく考えです。

こうした中、酪農基盤の弱体化に歯止めを掛けるべく、新たな取り組みとして

①高度な専門技術及び酪農家の養成確保に資する事を目的

に、日本獣医生命科学大学との連携

②Aコープ内のにぎわいの創設、地域の方々のふれあいの場の確保を目的に、鶴居村・ホクレンに御支援頂き、「ふれあいサロン」をつるりんぐの開設

③生乳生産の品質安定、廃棄ロス削減による農家所得の向上を目的に、「乳質改善プロジェクト」を立ち上げた他、「草地改良促進助成事業」「搾乳素牛増頭対策事業」「発電機導入設置助成事業」「サルモネラ症・マイコプラズマ感染症損害支援事業」に対し千八百万円の助成、生乳生産基盤強化緊急対策事業による低利資金対策に、一億七百万円の融資を致しました。

これらの取り組みの結果、生乳生産は諸事情により前年

対比98.9%の10万802トンでしたが、個体価格の上昇等により販売取扱高は、過去最高の百十九億円余りとなり、また、組合員経済も良好に推移し、十二月末では過去最高の締めくくりをさせて頂きました。結果、農協運営も順調に推移し二十八年度の事業利益は、一億三千九百万円となり、税引後当期剰余金は、一億六千三百万円を計上する事が出来ました。改めて関係各位に対し心より厚く御礼申し上げます。

二十九年度生乳生産は前年対比100.4%の10万1,100トンの目標でスタート致しました。幸いこの四月より関係者の努力が実を結び、プール乳価が昨年に比べ2円85銭程度上昇し、この追い風にしっかりと帆を張り最大限生か

す必要があります。農協と致しまして、これまで同様の諸対策に加え、昨年立ち上げた「乳質改善プロジェクト」を活用し、品質の安定・廃棄ロスの削減に努め、また増産意欲喚起を促す為の対策に四千万円、更に要望が強かった新規就農担い手対策に二千万円の予算で取り組みます。

新しい取り組みを具体化実現する為、その先頭に立つ営農部の強化として、平成三十年度を目標に取り組んでいまます機構改革の一部を前倒しし、六月一日を以って再編に取り組み、出向く営農体制の基盤作りを図ります。更により高い技術の提供を図るべく、技術顧問の招へいも計画しています。

今、TPP発効が不透明になり、日米二国間協議或いは

日欧EPAが取り沙汰される中、農協としてJAグループ北海道自らの「改革プラン」並びに「JA北海道大会決議事項」に基づき、「農業所得20%増大」「新たな担い手の倍増」「道民と食と農でつながるサポーター550万人づくり」に鋭意に取り組み、着実な自己改革を目指します。

今年、地域農業振興計画・JA中期経営計画の四年目を迎え、計画との整合性を問われるところであり、引き続き当組合の経営理念を柱に事業推進を図り、併せて組合員や地域住民の期待と信頼に応え「選ばれるJA」目指して、合併後十一年目になるこの年を大きな飛躍の年としたいと考えています。

本日の御参集に心から感謝と御礼を申し上げます。

JA北海道大会決議事項の着実な実践に関する特別決議

JAグループ北海道は、農協改革について自ら行う自己改革を基本とする考え方にに基づき、平成26年に定めた「JAグループ北海道改革プラン」を着実に進めるため、翌27年にJA北海道大会を開催し、「農業所得20%増大」「新規担い手の倍増」「サポーター550万人づくり」などのJA北海道大会決議事項の実践による自己改革を進めている。

我々は、平成29年度における大会決議事項の実践にあたり、農協改革集中推進期間の期限である平成31年度まで残り2ヶ年との危機感を共有し、組合員・JA・連合会・中央会がそれぞれの役割を再確認したうえで、力強い農業と豊かな魅力ある農村の実現を目指し、JAグループ北海道が一丸となり自己改革を着実に実践していく。

この特別決議は、満場一致で決議されました。



JA女性部部長
成田洋子さん

平成29年度 春季地区別懇談会

～ 酪農経営の維持・発展へ向け、意見・要望等が出されました～



白 糠 支 所

平成二十九年度 春季地区別懇談会が、四月二十五～二十六日の2日間、二地区（白糠・鶴居）で開催されました。組合員の皆様方には、定期的に農作業等で大変お忙しい中、2日間で計五十名の方々に出席頂きました。

懇談事項として、最近の酪農・畜産情勢等、平成二十八年度事業報告及び決算承認、平成二十九年度事業計画の設定、第十一回通常総会の招集及び提出議案、今後の金融事業の方向性について等の説明がありました。

出席した組合員の皆様方からは、今後の酪農経営の維持・発展に向けた体制整備、農協各部門における事業運営方針等に対し、具体的な質問・意見・要望等が数多く出されました。



本 所

今回、組合員の皆様方から出された質問・意見・要望等は今後の事業運営に活かして参ります。

釧路丹頂農協酪農振興会 通常総会



四月十五日、本所で第十
二回釧路丹頂農協酪農振興
会通常総会が開催されまし
た。

折笠文則会長は、「平成
二十八年度の事業も会員皆
様の御協力により無事終了
致しました。去年は、度重
なる天候不順等の影響によ
り粗飼料品質が低下し、今
後の生乳生産量の落ち込み
が心配されます。今後は、
乳量の回復、維持のために
個々の農場における飼養管
理の徹底と生産基盤の充実
を図って頂きたい。」と挨拶
しました。

議長は、白糠支部の影山
純さんが務め、平成二十八
年度事業報告並びに収支決
算、平成二十九年事業計
画他、全議案承認されまし
た。

農作業安全祈願祭

四月十七日、本所で
平成二十九年 釧路
丹頂農協農作業安全祈
願祭が開催されました。
各関係機関の代表者
が出席する中、玉串奉
天並びに神事を執り行
ない、今年一年におけ
る農作業の安全を祈願
しました。



外国人技能実習生 受入対面式

四月二十日、幌呂支
所で、外国人（フィリ
ピン）技能実習生受入
対面式が行なわれまし
た。外国人技能実習制
度によるこの事業は、
平成二十二年から今回
で七回目となり、受け
入れをする幌呂二農場、
白糠一農場の代表者が、
五名の実習生と対面し
ました。

受け入れ農場及び実
習生には、有意義な実



習期間となりますよう
心からご期待致してお
ります。

第10回 鶴居スプリングショウ 開催

～共進会シーズンスタート!!～



審査員: 柏葉 俊 氏

入賞牛一覧表

グランドチャンピオン				
スプリング セブテン ラバンガード			(農) 清和農場	鶴居
シニアチャンピオン				
スプリング セブテン ラバンガード			(農) 清和農場	鶴居
ジュニアチャンピオン				
TKS マツカチエン ブリス オボン ET			清水武志	鶴居
部	結果	名 号	出品者	地区
1部	1位	TKS ブラブラ リング	清水武志	鶴居
	2位	パインハイブン ジャスパー ユニグット ナーヴア	松井俊治	幌呂
2部	1位	TKS マツカチエン ブリス オボン ET	清水武志	鶴居
	2位	パインハイブン ミステイ SID ブローカー	松井俊治	幌呂
3部	1位	TKS アンセンビュー ブロー ジュンチュン ET	清水武志	鶴居
	2位	MS アールチエ マツカチエン ジョー	松下雅幸	鶴居
5部	1位	アワープライド ドアマン ブランキー ET	植田紘史	幌呂
6部	1位	SP ルイスデール チャリー アベイル ET	(農) 高橋農場	鶴居
7部	1位	OP エムビービー ラブリー カウ	植田紘史	幌呂
8部	1位	ヘンドリカ シエリル ノーム	(農) 清和農場	鶴居
	2位	TKS ミル チツブ	清水武志	鶴居
9部	1位	スプリング セブテン ラバンガード	(農) 清和農場	鶴居
	2位	SP ルイスデール リリー サーマン ET	(農) 高橋農場	鶴居

四月二十八日、鶴居村家畜共進会場で第十回 鶴居スプリングショウが開催されました。釧路丹頂農協乳牛改良同志会鶴居支部主催で、鶴居・幌呂から、計二十三頭の乳牛が出陳されました。審査員は柏葉俊氏（津別町酪農家）が務め、乳用牛としての体型や資質を競いました。審査の結果、グランドチャンピオンに鶴居、(農)清和農場の出品牛スプリング セブテン ラバンガード（9部）が選ばれました。主な入賞牛及び出品者は表のとおりです。

第24回 釧路西部スプリングショウ 開催



審査員:木本 洋一 氏



入賞牛一覧表

グランドチャンピオン			
ウツズスター エンペラー サンチエス レオ	林 稔 幸	白糖	
リザーブグランドチャンピオン			
ウツズスター マセスドラ グツド タイム	林 稔 幸	白糖	
ジュニアチャンピオン			
HSY アレキ エンジェル ユニ ET	細 谷 亮 太	白糖	
リザーブジュニアチャンピオン			
BS マツク サンハイ マツカ	(株)大坂ファーム	音別	
部	結果	名 号	出品者 地区
1部	1位	BS マツク サンハイ マツカ	(株)大坂ファーム 音別
	2位	VSツリー ストリーム ダーハム	對 木 賢 雅 白糖
2部	1位	HSY アレキ エンジェル ユニ ET	細 谷 亮 太 白糖
	2位	ウツズスター ジュディ シュリツブ タラ	林 稔 幸 白糖
3部	1位	フオグランド インプレッション ナナ	五十嵐 大 地 白糖
	2位	フオグランド サーベージ アフターショック エアー	五十嵐 大 地 白糖
4部	1位	KWF アイdeal アットウッド プルツクリン	(株)敬和ファーム 音別
	2位	ヘイチャン スターブライト クインガール ET	(合)伊深ファーム 白糖
5部	1位	VSツリー ファイナル アットウッド	對 木 賢 雅 白糖
	2位	フューチャーツリー フローカウ タラ	對 木 隆 司 白糖
6部	1位	BS リー プレジャー	(株)大坂ファーム 音別
	2位	VSツリー マックス ダーハム	對 木 賢 雅 白糖
7部	1位	ウツズスター マセスドラ グツド タイム	林 稔 幸 白糖
	2位	アドミラル モスエース マルシエ	松 田 浩 二 白糖
8部	1位	ヘイチャン プラクストン ベル	(合)伊深ファーム 白糖
	2位	KWF ストーム ヘスタ デイリス	(株)敬和ファーム 音別
9部	1位	ウツズスター エンペラー サンチエス レオ	林 稔 幸 白糖
	2位	KWF ・エレガンス ・アドベント ・イライシヤ	(株)敬和ファーム 音別

四月二十二日、白糠町家畜共進会場で、第二十四回 釧路西部スプリングショウが開催されました。

釧路丹頂農協乳牛改良同志会西部支部主催で、音別・白糠から、計三十二頭の乳牛が出陳され、審査員は木本洋一氏(社)ジェネティクス北海道道北事業所)が審査にあたり、

四月二十二日、白糠町家畜共進会場で、第二十四回 釧路西部スプリングショウが開催されました。審査の結果、グランドチャンピオンに白糖、林稔幸さんの出品牛ウツズスターエンペラーサンチエスレオ(9部)が選ばれました。主な入賞牛及び出品者は表のとおりです。

J Aグループ通信

J Aグループの連合会・中央会の活動内容を紹介します。

J A北海道大会決議事項の実践やその時々の特ピックスなど、組合員の皆様に定期的にお伝えします。

各団体の詳しい取り組み内容はWEBサイトをご覧ください。

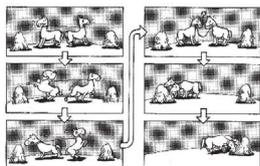
J A北海道中央会

本会北見支所が企画し、オホーツク地区のJ A広報誌で



連載している「今こそ！J A」その意義と役割」をご紹介します。

J Aグループを巡る報道が多くされる中、改めて私たち農業協同組合が果たす意義と役割を再認識するため作成しました。「協同とは」日本の農協はなぜ出来たか」などを



テーマとした、全12回の連載です。連載を通じて、組合員だけでなくJ A広報誌を購読している地域の皆さんにも、私たちの成り立ちや活動内容を知ってもらい、共感して頂きたいと考えております。

J A北海道信連

平成20年度から、食と農業への理解を深めるきっかけとなることを願い、J Aを通じて食と農のつながりを解説した教材本とDVDを道内の小学校へ贈呈しています。平成24年度からは特別支援学校も対象とし、今年度は全道1,086校に贈呈します。



本会から北海道教育委員会に対し教材の贈呈を行い、教材活用の協力を要請しております。

教育委員会への贈呈式↓



ホクレン

ホクレン女子陸上競技部は今年度の



新体制について記者発表を行いました。足寄町出身の清水穂選手を主将に内山千夏、加藤風紗、河辺友依の新人3選手を加えた11名で全日本実業団女子駅伝や個人種目での目標達成に挑みます。今年度は同部発足30周年



清水主将は「30周年にふさわしい結果を出せるようチーム全体で取り組みたい。個人ではマラソンで日本代表となれるよう頑張りたい」と抱負を語りました。

J A共済連北海道

農産物輸出を行う組合員やJ Aへの保障強化の観点から



日本貿易保険と業務委託契約を締結しました。取引先の財務状況悪化等で代金回収不可能となった場合の損害を保障する「貿易保険」の保険料が10%引きで提供可能となります。また、農薬散布用ドローン本体の損害と接触事故による損害賠償の保障「ドローン総合保険」を共同開発。4月より共栄火災で引き受けを開始しています。今後も組合員やJ Aの負担に応える保障提供に努めて参ります。

J A北海道厚生連

組合員ならびに地域住民の皆様との生命と健康を守るため、



本会事業の積極的な啓蒙推進を図ることを目的として、広報誌「すまいる」を発行しております。年3回発行しており、様々な医療・健康情報を発信しております。ホームページにもバックナンバーを掲載しておりますので、是非ご一読ください。



簡易更新で草地を
リフレッシュしよう！

草地の植生悪化は、牧草の栄養価や嗜好性の低下を招く原因になっていきます。しかし、完全更新は、費用と時間がかかることが課題です。

そこで、比較的取り組みやすい簡易更新について作溝法、表層攪拌法の事例を紹介をします。



写真1 作溝播種機の調整作業

① 作溝法

専用の播種機（写真1）などで、溝を切る方法です。比較的手軽で、トラクタと播種機があれば施工できます。近年は雑草が侵入した草地へペレニアルライグラスなどを追播する取り組み事例が多く見られます。



写真2 作った溝から発芽

① 播種時期

早春、一番草・二番草収穫後、または初冬期（フロストシードイング）など干ばつ時以外であれば施工可能です。

② 播種量

通常の更新と同量の十アール当たり二〜二・五kg程度で播種します。発芽後の状況は、プラウ耕の約半数の発芽個体数が確保されます。（表1）

③ 発芽後の特徴

草種によっては発芽後の定着や植生の改善まで時間はかかりませんが、草地をそのまま使用しながら改善で

表1 工法別発芽個体数（本/m²）

作溝	プラウ
1,170	2,403

（沖田ら2010）

きるメリットがあります（写真2）。

② 表層攪拌法

表層攪拌には、ロータリー耕等もありますが、今回は重デスクハローを使った釧路市音別町の事例を紹介します。

事例1 放牧地施工

傾斜地のため除草剤を散布しないで、重デスクハローを数回かけ、ローラーで鎮圧後ブロードキャスターで播種し再度ローラーで鎮圧しました（写真3・4）。



デスクハローを使った耕起

写真3 放牧地での施工

事例2 採草地

除草剤で枯殺処理した後、デスクハローを数回かけて、ローラー鎮圧後ブロードキャスターで播種し、ローラー鎮圧しました（写真5）。



写真4 播種年秋の様子



写真5 採草地デスク更新

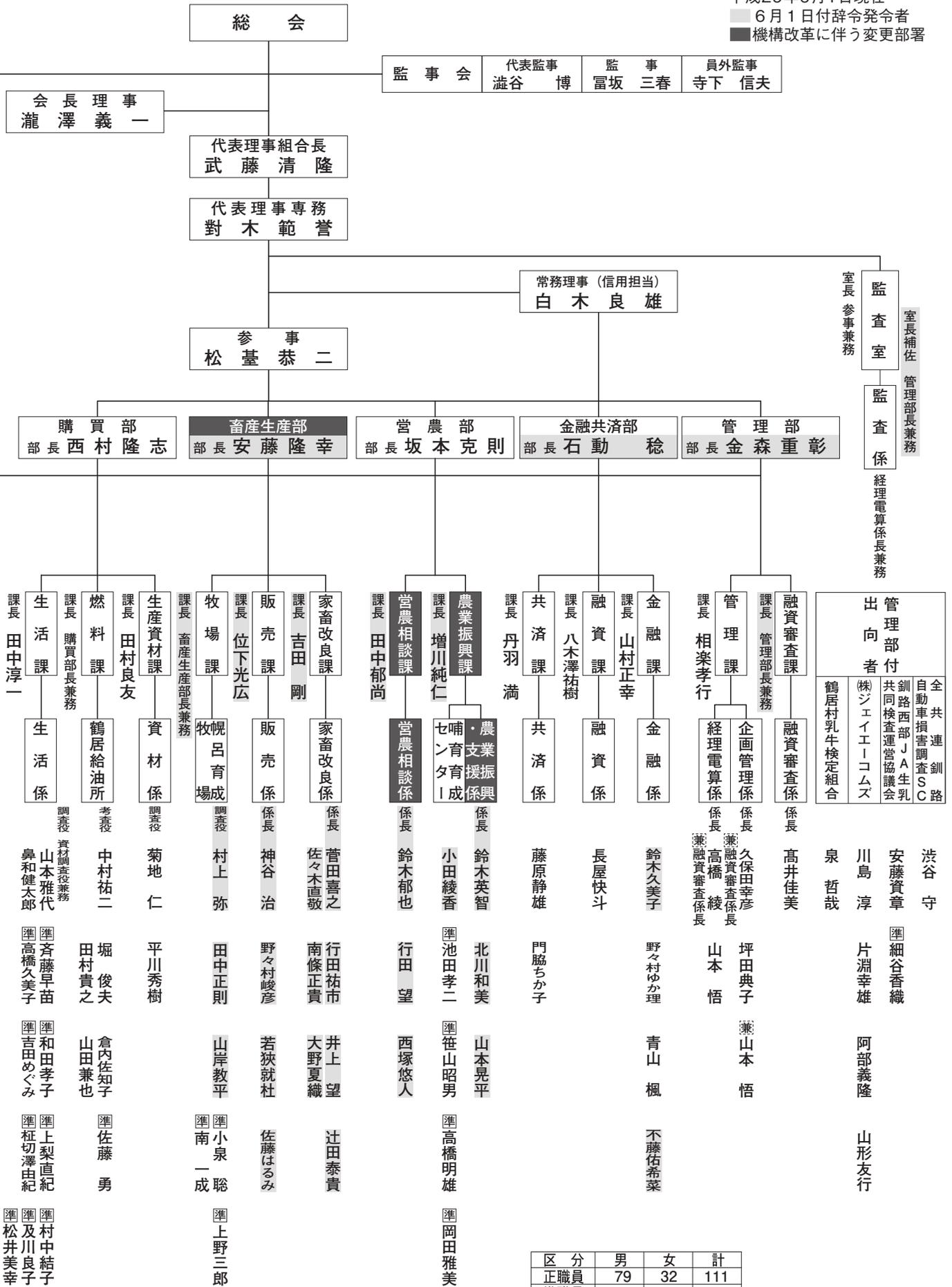
皆さんも取組んでみませんか？詳細は普及センターまで。（平成二十九年四月作成）

辞 令 発 令

(平成29年6月1日付)

氏 名	新 所 属	旧 所 属
石 動 稔	金融共済部 部長	管 理 部 部長兼監査室室長補佐 兼融資審査課長
金 森 重 彰	管 理 部 部長兼監査室室長補佐 兼融資審査課長	金融共済部 部長
田 中 郁 尚	営 農 部 営農相談課長	本所営農部 営農課長
増 川 純 仁	営 農 部 農業振興課長	幌 呂 支 所 営農課長
鈴 木 郁 也	営 農 部 営農相談課営農相談係長	幌 呂 支 所 営農課営農係長
鈴 木 英 智	営 農 部 農業振興課農業振興・支援係長	本所営農部 営農課営農係長
北 川 和 美	営 農 部 農業振興課農業振興・支援係	幌 呂 支 所 営農課営農係兼家畜改良係
山 本 晃 平	営 農 部 農業振興課農業振興・支援係	本所営農部 営農課営農係
行 田 望	営 農 部 営農相談課営農相談係	本所営農部 営農課営農係
西 塚 悠 人	営 農 部 営農相談課営農相談係	本所営農部 営農課営農係
鈴 木 久美子	金融共済部 金融課金融係	幌 呂 支 所 金融共済課金融係兼総務係
不 藤 佑希菜	金融共済部 金融課金融係	幌 呂 支 所 金融共済課金融共済係
小 田 綾 香	営 農 部 農業振興課哺育育成センター係 正職員	本所営農部 営農課哺育育成センター係 準職員
安 藤 隆 幸	畜産生産部 部長兼牧場課長兼幌呂支所長	幌 呂 支 所 支所長兼牧場課長
吉 田 剛	畜産生産部 家畜改良課長	幌 呂 支 所 家畜改良課長
位 下 光 広	畜産生産部 販売課長兼白糠支所販売課長	本所営農部 販売課長兼白糠支所販売課長
菅 田 喜 之	畜産生産部 家畜改良課家畜改良係長	幌 呂 支 所 家畜改良課家畜改良係長
神 谷 治	畜産生産部 販売課販売係長	本所営農部 販売課販売係長
村 上 弥	畜産生産部 牧場課幌呂育成牧場調査役	幌 呂 支 所 牧場課幌呂育成牧場調査役
佐々木 直 敬	畜産生産部 家畜改良課家畜改良係	幌 呂 支 所 家畜改良課家畜改良係
行 田 祐 市	畜産生産部 家畜改良課家畜改良係	幌 呂 支 所 家畜改良課家畜改良係
南 條 正 貴	畜産生産部 家畜改良課家畜改良係	幌 呂 支 所 家畜改良課家畜改良係
井 上 望	畜産生産部 家畜改良課家畜改良係	幌 呂 支 所 家畜改良課家畜改良係
大 野 夏 織	畜産生産部 家畜改良課家畜改良係	幌 呂 支 所 家畜改良課家畜改良係
辻 田 泰 貴	畜産生産部 家畜改良課家畜改良係	幌 呂 支 所 家畜改良課家畜改良係
野々村 峻 彦	畜産生産部 販売課販売係	本所営農部 販売課販売係
若 狭 就 杜	畜産生産部 販売課販売係	本所営農部 販売課販売係
佐 藤 はるみ	畜産生産部 販売課販売係	本所営農部 販売課販売係
松 原 洋 子	幌 呂 支 所 金融共済課金融共済係兼総務係	本所金融共済部 金融課金融係
金 森 彰 美	幌 呂 支 所 金融共済課金融共済係	白 糠 支 所 金融共済課金融係
山 岸 教 平	畜産生産部 牧場課幌呂育成牧場係	幌 呂 支 所 牧場課幌呂育成牧場係
田 中 正 則	畜産生産部 牧場課幌呂育成牧場係 正職員	幌 呂 支 所 牧場課幌呂育成牧場係 準職員
佐 藤 千 鶴	白 糠 支 所 営農課営農係兼販売課販売係 兼家畜改良課家畜改良係	白 糠 支 所 営農課営農係 兼家畜改良課家畜改良係
手 塚 恵	白 糠 支 所 金融共済課金融共済係	音 別 支 所 金融共済課金融係兼総務係
八 木 優 紀	白 糠 支 所 金融共済課金融共済係	本所金融共済部 金融課金融係
寺 澤 順 子	白 糠 支 所 購買課白糠給油所係 正職員	白 糠 支 所 購買課白糠給油所係 準職員
北 村 千 春	音 別 支 所 金融共済課金融共済係兼総務係	白 糠 支 所 金融共済課金融係

平成29年6月1日現在
 ■ 6月1日付辞令発令者
 ■ 機構改革に伴う変更部署



区分	男	女	計
正職員	79	32	111
準職員	25	25	50
計	104	57	161



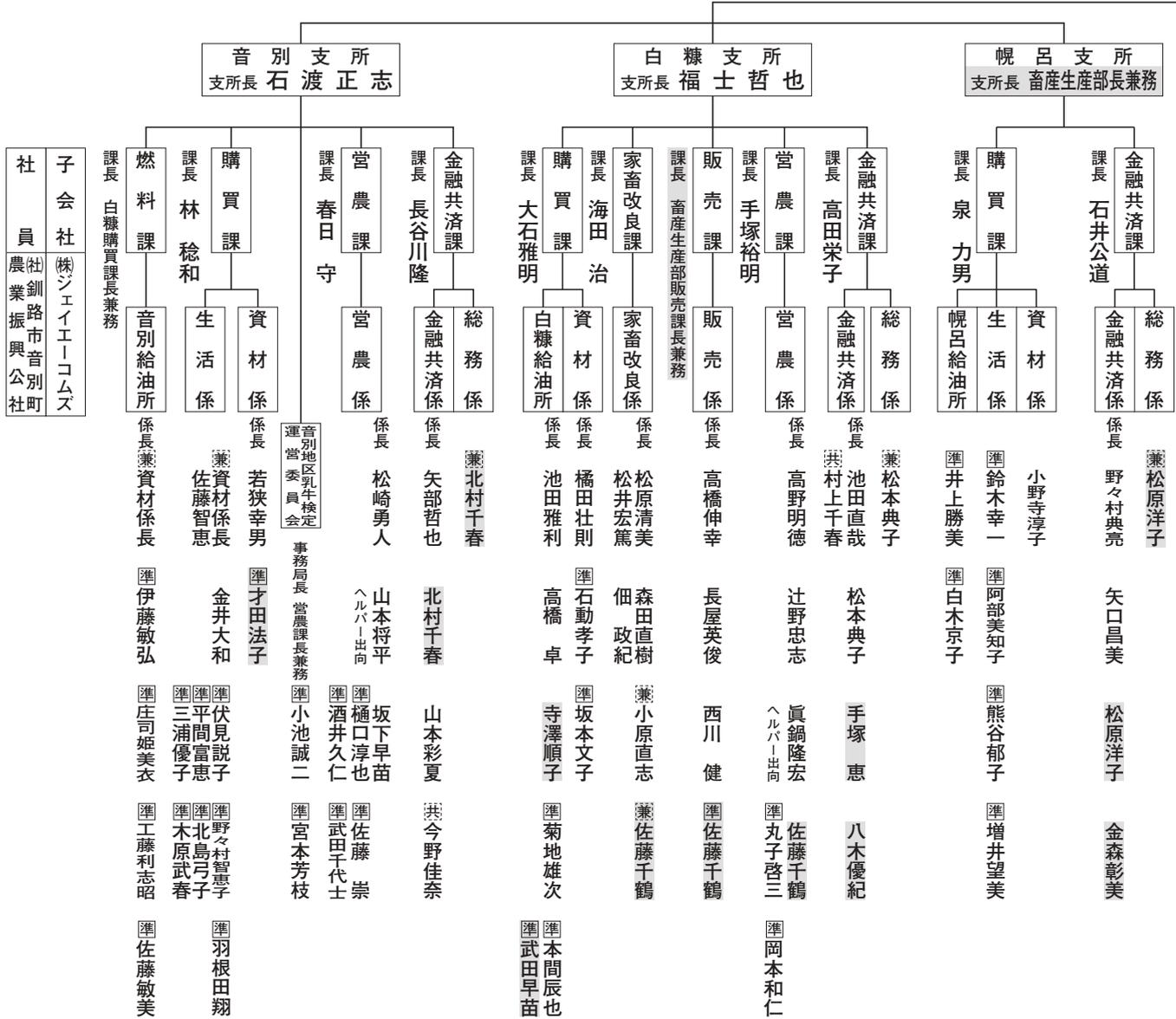
JAくしろ丹頂組織機構図

瀧澤 義一 田井 博行	武藤 清隆 藤澤 常行	對木 範營 千葉 喜好	松下 勉 五十嵐政敏	大坂 博文	学識經驗理事 白木 良雄	理 事 会
----------------	----------------	----------------	---------------	-------	-----------------	-------

管理金融共済委員会
委員長 松 下 勉

営農経済委員会
委員長 大 坂 博 文

融 資 協 議 会
委員長 田 井 博 行



理事会報告

4月臨時理事会 平成29年4月19日(水)

報告事項

1. (株)ジェイエーコムズにかかる監事監査報告について

付議事項

- 議案第1号 全中監査（JA全国監査機構監査）の結果について
- 議案第2号 平成28年度（決算）にかかる監事監査の結果について
- 議案第3号 平成28年度（第11年度）貸借対照表、損益計算書および注記表並びに全国監査機構の監査および監事の監査報告の承認について
- 議案第4号 平成28年度（第11年度）事業報告、剰余金処分案の承認について
- 議案第5号 理事と組合との契約承認について
- 議案第6号 不良債権の処理方針について

- 議案第7号 一般社団法人釧路市音別町農業振興公社の役員推薦について
- 議案第8号 諸規程等の制定について
- 議案第9号 諸規程等の一部変更について
- 議案第10号 特定組合員に係る特別運用基準の対象組合員について
- 議案第11号 平成29年度 経営定期点検実施計画書の策定について

※以上全件原案通り承認されました。

その他協議事項

1. 機構改革に向けた組織機構の取進めについて
2. 今後の金融事業の方向性について
3. 「平成30年度 酪農畜産政策・価格対策」に係るJA意見の集約について
4. 当面の業務日程について

4月定例理事会 平成29年4月26日(水)

報告事項

1. 専決事項及び諸会議について
2. 各委員会・諸会議等について
3. 3月末財務状況について
4. 事業の実施処理状況について
5. 子会社の決算状況および監事の監査報告について（(株)ジェイエーコムズ）

付議事項

- 議案第1号 JA全国監査機構 平成28年度 期末監査の改善指示書に対する回答について

- 議案第2号 回転出資金の出資への振り向けについて
- 議案第3号 融資の承認について
- 議案第4号 定款の一部変更について
- 議案第5号 子会社の平成29年度 事業計画の策定について

※以上全件原案通り承認されました。

その他協議事項

1. 春季地区別懇談会における意見・要望等について
2. 合併10周年記念に伴う功労者表彰について
3. 当面の業務日程について

■平成29年度	生乳生産実績（4月）			
	月計乳量 (kg)	4月前年比 (%)	累計乳量 (kg)	累計前年比 (%)
JAくしろ丹頂	8,149,907.9	95.0	8,149,907.9	95.0
鶴居地区	2,864,205.2	99.6	2,864,205.2	99.6
幌呂地区	2,194,595.8	95.8	2,194,595.8	95.8
白糠地区	1,688,150.2	94.4	1,688,150.2	94.4
音別地区	1,402,956.7	86.7	1,402,956.7	86.7
管内計	43,226,645.6	96.2	43,226,645.6	96.2
(前年度管内計)	44,920,218.7		44,920,218.7	

大変お世話になりました。



上野 三郎
幌呂支所牧場課
幌呂育成牧場係

この度、平成29年4月30日をもちまして、釧路丹頂農業協同組合を定年退職いたしました。

平成9年3月1日、旧幌呂農協に入組以来20年2ヶ月にわたり勤めることが出来ましたのも、公私にわたる皆様のご指導、ご支援の賜と心から感謝いたしております。私は、農協合併後も新幌呂育成牧場業務に携わり、組合員の皆様、地域の皆様とのふれあいの中から多くの事を学ばせていただきました。

最後に皆様のご健勝とご多幸をご祈念申し上げ、退職の挨拶といたします。長い間お世話になり、ありがとうございました。

（本職員は引き続き、幌呂支所に準職員として勤務しています。）

編集後記
EDITOR'S NOTE

□これから夏へ向け、本格的な農作業シーズンが到来します。農作業事故で最も多いのは、トラクターの操作中に起きる転倒や転落による事故と言われております。日頃から農作業における安全のポイントを守り、家族や周りの人とも声を掛け合い、地域全体で安全を呼びかけて参りましょう。